

## 自然やアクティビティーを楽しむ滞在型観光

### ●四季を味わえる

#### アドベンチャートラベル

アドベンチャートラベル(AT)とは、アクティビティー(身体的活動)、自然、異文化体験の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅のスタイルのことで、欧米を中心に年々拡大している市場規模は約72兆円といわれています。



北海道は、四季を通じて楽しめるコンテンツが豊富にそろっており、道では、こうした優位性を生かして滞在型観光を充実させていこうと、海外富裕層を中心としたAT旅行者の拡大に向けた取り組みを進めています。現在は、世界最大のATイベントである、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の開催実現に取り組んでいるほか、ATに対応できるガイドの育成などに力を入れています。



ATという新しい旅を通じて、北海道の魅力を再発見しませんか。

つるが 鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部部長  
たかだ しげる 高田 茂さん

2018年に開設した「鶴雅アドベンチャーベースSIRI」は、世界的にも希少なフィールドで滞在型の旅を発信するアドベンチャートラベル基地。阿寒摩周国立公園という屈指の自然環境を舞台に、登山を含むトレッキングやフィッシング、ノルディック・ウォークなど、四季を通じてアクティビティーを楽しんでいただいています。

ATガイドの役割は、地域の自然と文化の魅力を最大限に活用し、お客さまのニーズに合った旅の楽しさを提供すること。安全面の配慮や知識・経験は大事ですが、私は日頃からスタッフに“森のエンターテイナー”としてお客さまに接してほしいと伝えています。

道内でのATの取り組みは始まったばかり。SIRIを利用する欧米のお客さまは3割ほどで、今後も増えると予想しています。一方で、道内外から訪れる日本人のお客さまが「阿寒の魅力再発見した」とリピーターになってくれることも多く、励みに感じています。道民の皆さんも、ATという新しい旅をぜひ体験して、北海道の魅力を再発見してみてください。



SIRIで体験できるノルディック・ウォーク

## 地域

### ●歴史・文化の魅力を生かした観光地づくり

外国人観光客にとって日本の歴史や文化は魅力的な要素で、その土地への理解と愛着を深め、旅の満足度を高めることにつながります。

北海道には、縄文遺跡群や北前船※などの日本遺産、ウポポイ(民族共生象徴空間)など、本道独自の歴史・文化を伝える資源が豊富にあります。

道では、こうした資源を生かして地域の魅力の向上につなげるため、公益社団法人北海道観光振興機構と連携して、ATやサイクルツーリズムといった新たな体験型観光の振興などに取り組んでいます。

※北前船は、江戸時代から明治時代にかけて、大阪と北海道を日本海回りで結んでいた帆船で、北海道からは昆布やニシンなどを運び、寄港地で商品を売り買いしながら航海していました。



ウポポイでは、アイヌ古式舞踊などアイヌ文化を体験できます

### 北海道を遊ぼう! 2020

北海道の体験型観光に関する最新情報を集めたイベントを開催します。  
主催：北海道、(公社)北海道観光振興機構



来るよ！  
キョンちゃんも

道内各地の魅力あるアウトドアフィールドや旬の体験メニューの紹介、キャンピングカーの試乗体験、クイズ＆抽選会、北海道観光PRキャラクター「キョンちゃん」との撮影会など、アウトドア派にぴったりの企画が盛りだくさん。道内旅行のプランに役立つ情報をお届けします。参加無料で、事前申し込みは不要です。ぜひご家族でご来場ください。

●日時／3月21日(土)、22日(日) 10～18時(22日は17時まで)

●会場／サッポロファクトリーアトリウムおよび煙突広場(札幌市中央区北2条東4丁目)

旅して体験!北海道

検索



## ウポポイ(民族共生象徴空間)が 2020年4月24日、白老町にオープン。 ぜひアイヌ文化を体感してください。

ウポポイ  
PRキャラクター  
トゥレットポん



▶お問い合わせ 道庁アイヌ政策課  
☎(011)204-5185

### ウポポイの主な施設



ウポポイ(完成予想図) 提供:文化庁 ※本画像はイメージ図です。

先住民族アイヌを主題とする日本初の国立博物館

#### 国立アイヌ民族博物館



国立アイヌ民族博物館  
(完成予想図) 提供:文化庁

口承文芸をはじめ、アイヌ語由来の地名、カムイ(神)の考え方や自然観、衣食住や他文化との交流などを、アイヌ民族の視点で多彩に展示します。

体験型フィールドミュージアム

#### 国立民族共生公園



アイヌ古式舞踊

アイヌ古式舞踊をはじめ、食文化、ムックリ(口琴)の演奏や伝統工芸品づくり、アイヌの子どもたちの遊びなど、多様な体験プログラムが用意されています。

### アイヌ文化の復興・発展のための拠点

この春、白老町に誕生する「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味します。私たちの国の貴重な文化でありながら、存続の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となるナショナルセンターです。

北日本初の国立博物館である「国立アイヌ民族博物館」、さまざまなプログラムを通じてアイヌ文化を体験できる「国立民族共生公園」などで構成されています。

独自の言葉であるアイヌ語や信仰に触れ、伝統芸能・食・ものづくりを体験することで、アイヌ民族がどのように自然と向き合い、文化を受け継いできたのか、一緒に学びましょう。

世界中から多くの方に  
来ていただき、  
アイヌ文化を知って  
ほしいですね!



「アイヌ」は「人間」という意味だと教わりました。ウポポイが日本国内はもとより、世界中から人が集まり、現代人が忘れかけた時の流れや優しさ、自然との向き合い方など、「人間」本来のあり方が見える「窓」のような存在になってくれたらいいですね。

ウポポイ開設  
PRアンバサダー  
宇梶 剛士さん

#### <2020年度 営業日・営業時間>

期間	営業時間
4月24日(金)～7月19日(日) 9月1日(火)～10月31日(土)	平日/9:00～18:00 土日祝日/ 9:00～20:00
7月20日(月)～8月31日(月)	9:00～20:00
11月1日(日)～3月31日(水)	9:00～17:00

※休業日/月曜日(祝休日の場合はその翌日以降の平日)  
および年末年始(12月29日～1月3日)

#### <入場料(税込)>

	個人	団体 (20人以上)
大人	1,200円	960円
高校生	600円	480円
中学生以下	無料	無料

※博物館と公園の共通券  
(博物館の特別展示や一部の体験メニューを除く)

#### <駐車場>

一般駐車場	約480台
大型駐車場	約80台

<住所> 白老町若草町2丁目

※JR白老駅から徒歩約10分、  
白老ICから車で約10分

最新情報は「ウポポイ」  
ポータルサイトを  
ご覧ください。

ウポポイ

検索



●前売り入場券は全国主要コンビニ、右記ウェブサイトで購入できます。